

採用計画数よりも多い内定者数 1030名 1045名

理由は「リニア建設」と「団塊世代退職」 すべての所員のみなさん

10年度（今年4月）の採用内定者数を知っていますか。昨年2月に発表された採用計画数は、1030名です。その後の採用内定者数は1045名で、計画と内定の違いは以下のとおりです。

	計画・09年2月	内定・09年9月	計画と内定の差
大学、大学院卒	465名	448名	17名 減
高専、短大、 専門学校卒	190名	237名	47名 増
高校卒	375名	360名	15名 減
合計	1030名	1045名	15名 増

特徴は二つ。「大学、大学院卒」を減らし、「高専、短大、専門学校卒」を大きく増やしているところと、もう一つは「高校卒」が減っていることです。この特徴は09年の採用状況と同じです。

すべての所員のみなさん 年休 いやな予感がしませんか？

ところで、新聞で、JR東海の11年度（来年4月）採用計画数が1000人規模となることが明らかにされました。09年度から3年連続の1000人代の採用だそうです。その理由は「リニア中央新幹線の建設で仕事量が増える」と「団塊世代の従業員が大量に退職した」だそうです。

したがって今年も、上の表のようにリニアのために高専、短大、専門学校卒を大きく増やしていると考えられます。しかし、団塊世代は、多くの場合私たちの職場で退職されているのです。にもかかわらず、なぜ高校卒の採用数が減らされているのでしょうか。

これでは、今年も年休が取れない・流れる となってしまう

09年度の休日出勤数は「5泊行路程度」でしたが今年は、何泊行路程度になるのでしょうか。確かに採用は経営判断ですが、私たちの労働条件にストレートに反映します。

あと69日しかありません

今からでも間に合います。来年、年休を流さないためにも、運転科に 年休は流れないですよ と確認に行きましょう。